

## 世界の乳製品貿易で中国が存在感を増す

### 欧州委員会「牛乳乳製品市場観測サイト」2020年12月会合報告より

欧州委員会が開設している「牛乳乳製品市場観測サイト(Milk Market Observatory = MMO)」の経済委員会の12月会合が、ビデオ会議方式で開かれた。同会合の報告書(\*1)では、生乳生産や乳製品への需要が世界的に好調であることに加え、EUでは乳価や乳製品価格が比較的安定していることや、民間在庫量は通常のレベルであることなどを伝えた。また、世界の乳製品貿易で中国が存在感を強めていることや、EUでは新型コロナ禍でeコマースによる乳製品の売上げが活況を呈していることなど、市場の最新動向を解説するとともに、乳製品市場は新型コロナの世界的流行に対してこれまで強靱性を示してきたが、多くの不確実性もあることなどを指摘している。以下に報告書の要約を紹介する。(読みやすさを考慮し、Jミルクで小見出しを補った)

MMO 経済委員会の第36回会合は、以下のミルクサプライチェーンの専門家の参加を得て、ビデオ会議で2020年12月11日に開催された。

- COPA-COGECA (欧州農業組織委員会・農業協同組合委員会)
- CEJA (欧州青年農業者協議会)、EMB (欧州酪農委員会)
- ECVC (ビア・カンペシーナ)、EDA (欧州乳業協会)
- Eucolait (欧州乳製品輸出入・販売業者連合)
- Eurocommerce (欧州商工会)

会合でのプレゼンテーションと情報交換では、次の点が強調された。

#### 27カ国の集乳量1.8%増、価格は安定

暫定値によると、EU27カ国の集乳量は2020年10月には前年同月比1.4%(16.3万トン)増、また2020年累積では1.8%(217万トン)増えた。クロアチアでは2020年1月～10月の累計生産量が前年比で0.8%減少したが、EU加盟国のうち10カ国では3%を超える生産

量の増加が報告された。2020年9月までの集乳量の増加を受け、全ての乳製品で生産量が増加した(飲用乳3.5%、脱脂粉乳3%、全粉乳およびバター2.4%、チーズ2%)。

EUの平均的な庭先乳価は、2020年10月には35セント/kgと報告されており、これは2月以来最も高い価格である。またこの価格は2019年10月より0.6%低いものの、過去5年間の平均を3.2%上回っている。2020年11月のEU加盟諸国の概算でも35セント/kg前後となり、より安定した生乳価格を示している。

乳製品価格(脱脂粉乳、全粉乳、バター)は、昨年10月よりも低いが、夏以降はかなり安定している。EUのチーズ価格は、エメンタールとチェダーが昨年レベルをわずかに上回り、エダムがわずかに下回っている。

#### EUの民間在庫量は通常のレベル

供給(生産量+輸入量)から需要(国内消費量+輸出量)を差し引いた残余乳製品のEU27カ国と英国の在庫レベルの評価では、民間の脱脂粉乳在庫量は2020年半ばから季節的に減少し、現在は約15万トンと低いレベルを示している。2020年9月末には、バター

在庫量は年間のこの時期としては 20 万トンと通常のレベルだった。バターは域外諸国への輸出量の増加と小売の売上げが市場バランスを支えた。チーズの在庫量は 40 万トンで、前年の同時期と比較して、通常のレベルであり、国内および世界の需要は健全だった。市場の動きはチーズの種類によって異なっている。

これらのことから 10 月には乳製品の PSA (民間在庫補助)からチーズ 3020 トン、バター 2 万 4617 トン、脱脂粉乳 4566 トンが消費され、10 月末時点の EU と英国の残余在庫量は次の通り:脱脂粉乳 1 万 2567 トン、バター 2 万 8964 トン、チーズ 2 万 4832 トン。

### 乳製品貿易で中国が存在感を増す

全世界の生乳供給量は堅調であり、予想を上回っている。2020 年の 9 月までで主要輸出国/地域(EU27 カ国、英国、米国、ニュージーランド、オーストラリア、アルゼンチン、ウルグアイ)での生産量は、英国が 0.6%のマイナスであったが、全体では 2%増加した。ニュージーランドでは、乾燥した気候条件のために集乳量の増加が減速した。米国では、飼養頭数規模の増加と乳牛一頭当たりの産乳量の増加により、力強い集乳量(1.9%増加)が記録された。アルゼンチンでもコスト上昇による収益性の厳しさがあったにも関わらず、生産量は大きく拡大(7.8%)した。

世界貿易は第 3 四半期に予想を上回る堅調な推移を示した。2020 年 1 月~9 月には、EU のチーズおよびバターのウクライナへの輸出は、それぞれ 130%および 1012%まで増加した。中国は世界の乳製品貿易でのウエイトが高まっており、2 番目に貿易量の多い輸入国(メキシコ)の市場シェアの 3 倍以上を占めている。中国でのホエイへの印象的な需要の強さは、中国での養豚業が(豚コレラから)回

復しつつあることを示している。EU からの生乳換算での輸出量は、中国向けが英国向けをわずかに上回っている(中国 15%、英国 14%)。

### EUではコロナ禍でeコマースによる乳製品の売上げが活況

EUでの乳製品の小売売上高は、2009 年から 2019 年の間に 8%増え、主にハードチーズとソフトチーズおよびバターの売上げが牽引した。EU 市民の乳製品への支出は、購買力、好み(例えば有機)、文化の違いによって異なっている。乳製品の中では、チーズと飲用乳への支出は、ほぼすべての EU 加盟諸国で 2019 年には最も高くなった。近代的な食料品小売業者が乳製品の売上げを支配しているが、e コマースによる売上げは 2009 年から 2019 年の間に 219%増え、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のため、2020 年はさらに活況を呈した。

EU では、家計はどちらかといえば未だ悲観的で、消費よりは貯蓄に向かう傾向があり、消費者は自信を失っている。乳製品の消費については都市封鎖(ロックダウン)のため、特にバター、クリーム、チーズだけでなく UHT 乳も含め、乳製品のすべてのカテゴリーにおいて家庭内での消費が増えた。また、一部の加盟諸国では、原産地呼称保護(PDO)や地理的表示保護(PGI)ではないチーズへのシフトが明確である。有機乳製品の売上げは引き続き増加しているが、そのペースは遅い。

乳製品市場は Covid-19 の世界的流行に対してこれまで強靱性を示してきたが、未だに多くの不確実性がある。Covid-19 へのワクチンに関する発表で日常生活に戻りたいという感情や望みが高まっている。それにもかかわらず、貧弱なマクロ経済指標と貿易紛争は乳

製品の輸出に影響を与え続けている。小売製品の売上高と輸出は堅調だが、完全または部分的なロックダウンの第2波は食品サービス業界に圧力を与えている。さらに合意なき英国のEU離脱は、EUと英国の間の貿易を混乱させ、EUと全世界の乳製品市場のバランスに影響を与えることになるだろう。

**参考資料:**

- 1) [https://ec.europa.eu/info/sites/info/files/food-farming-fisheries/key\\_policies/documents/mmo-report-2020-12-11\\_en.pdf](https://ec.europa.eu/info/sites/info/files/food-farming-fisheries/key_policies/documents/mmo-report-2020-12-11_en.pdf) MMO economic board meeting report - 11 December 2020. European Commission. (2020年12月17日参照)

(Jミルク 国際グループ 新光一郎)